

令和 8 年度事業計画

令和 7 年は、半年間にわたり開催された大阪・関西万博により、関西一円が国内外から大きな注目を集める一年となった。奈良においても、奈良公園をはじめ市内各所への関心が高まり、観光の賑わいは大きく回復した。コロナ禍の収束を経て、奈良が改めて多くの人々に旅の目的地として認識されたことは、奈良市観光協会にとって誠に意義深いことであった。

一方で、そのような賑わいのみをもって、奈良の観光が十分に成長していると評価することはできない。来訪者の関心は、なお奈良公園周辺に集中している。今後も増加が見込まれるインバウンド観光客についても同様であり、大阪・京都に近接する奈良の地理的条件とも相まって、日帰りを中心とした観光構造が依然として続いている。

奈良の魅力は、単に名所旧跡の多さにあるのではない。千年以上にわたり守り伝えられてきた祈りのかたち、人々の営みの記憶、そして歴史と文化が静かに醸成してきた精神的な豊かさにこそ、その本質がある。しかし、慌ただしい観光の在り方の中では、こうした奈良の本質的価値に十分触れていただくことは必ずしも容易ではない。

奈良市観光協会は、これまでも「より深い奈良」を伝えるための情報発信と企画展開に努めるとともに、「多種多様な情報の発信」「旅マエにおける確実な情報伝達」「広域周遊による市内各地域への分散」等を活動の軸として、さまざまな事業を展開してきた。これらは一定の成果を上げてきたものの、宿泊者数の伸び悩みや滞在時間の短さといった積年の課題は、なお解消には至っていない。また、これらの課題は、単に来訪者数を増やすだけでは改善又は解決し得ないこともいまや明らかになっている。

今後は、多様な情報発信を継続しつつ、「深く本質的な奈良の価値」を理解し求める人々に的確に届けることにより、こうした課題の解決に向けた取り組みを着実に進めていく必要がある。

以上を踏まえ、奈良市観光協会は、令和 8 年度において下記の諸事業を実施する。

各事業

【観光情報提供事業】

（１）観光情報提供事業（紙媒体情報）

○『ならり』の発行

季節ごとの観光情報や奈良市観光協会の新たな取組を紹介する情報誌として、令和８年度秋冬号及び令和９年度春夏号を発行する。

「大和野菜」「仏像」「和菓子」など、毎号特色ある特集を編成し「より深い奈良」の情報発信を図る。市内観光案内所のほか、連携する各地の観光案内所、観光関連団体、旅行会社、交通事業者、メディア等へ送付し、配架・配布を依頼する。また、奈良市観光協会ウェブサイト、ＳＮＳ、キャンペーン特設ホームページ等と連動させ、知名度及び普及度の向上を図る。さらに、目標とする購読層に適切に配付されているかを検証するとともに、新たな配付協力先の開拓を継続する。

○『なら栞（しおり）』の発行

年間を通じた奈良市の総合観光情報誌として発行する。

○『ようこそ奈良へ 観光マップ』『奈良公園ウォーキングマップ』の発行

観光案内所にて需要がある、マップ２種（表裏）を日本語と多言語で発行する。

○英語版観光パンフレットの発行

観光案内所等において需要のある英語版観光パンフレット『Travel Guide Nara』、『Nara Night Map』並びに『Tomio Ramen Map』を発行する。

（２）観光情報提供事業（デジタル情報）

日本語・英語を中心に、ウェブサイトやＳＮＳ等によるデジタル観光情報の発信を拡充し、その即時性を生かして『ならり』等の紙媒体との相互補完を図る。引き続き、アクセス解析に基づく発信情報の最適化と効果的な運用に努める。

○奈良市観光協会公式ウェブサイトの運営

観光情報を中心に提供するウェブサイトを、日本語・英語を中心として、繁体字・簡体字・韓国語でも運営する。各種行事・イベントに加え、緊急性及び即時性の高い情報についても発信していく。あわせて、奈良市観光協会が発行する各種観光情報誌・マップ等の紙媒体のダウンロード機能も引き続き提供する。

ウェブサイトにおいては、社寺関連以外の各種イベント情報についても積極的に掲載して情報の多様化を図り、「特集」「モデルコース」「グルメ」「お土産」等、来訪者の関心が高い情報の充実に努める。なお、スマートフォンによる閲覧が主

流となっていることを踏まえ、来訪者が旅ナカにおいても容易に情報を取得できる仕様とする。また、奈良市観光協会公式キャラクター「しかまろくん」専用ページ及び教育旅行専用ページも併設し、奈良市観光協会ウェブサイトが地域の総合的な観光情報発信の中核として機能するよう整備を進める。

- 奈良市観光協会の多言語ウェブサイト、特に英語版ウェブサイトの充実に努め、インバウンド来訪者の情報検索における中核的ツールとして整備する。
- 公式フェイスブックの運営
観光情報やイベント情報等をタイムリーに発信する。一部情報については英語、中国語（繁体字）でも発信する。
また、「しかまろくん」フェイスブックも運営する。
- 公式インスタグラムの運営
主として季節の誘客キャンペーンと連動させ、フォロワー数の拡大に努める。

【誘致受入事業】

（１）観光プロモーション事業（広報宣伝事業）

広告出稿、各種取材対応、プレスイベントの開催等を通じ、積極的な広報宣伝により、情報拡散及び各メディアとの関係構築に努める。

○ 広告出稿と取材対応

広範囲な観光情報の発信と、奈良に関する露出を最大限に高めるため、奈良市観光協会のキャンペーンを中心に、一般紙、ウェブニュース、旅行誌、カルチャー誌等への広告出稿及び各種取材対応を通じて、メディアとの関係構築を図る。

○ プレスリリースとプレスイベント

奈良市観光協会が展開する誘客キャンペーン及び伝統行事・観光行事に関するプレスリリースを適時に全国配信し、あわせてウェブサイトでも公開する。キャンペーン実施前にはプレス関係者等を招請し、広報効果の向上を図る。

○ 奈良市域外での広報活動

首都圏及び関西圏における広報手段を確保するため、大手旅行会社及び鉄道事業者との連携を強化・継続する。

東京駅に位置する民間観光案内所と契約し、首都圏での情報発信の核とする。

（２）観光キャンペーン事業（オリジナル企画による誘客事業）

夏、秋、冬、春を通じて誘客キャンペーンを展開する。既存の社寺・歴史ファンに対しては、より深い体験を提供するとともに、新たなファン層の開拓を図り、来訪者の滞在時間延長及び宿泊への誘引につなげる。

観光情報誌『ならり』、観光協会ウェブサイト・SNS、観光協会主催ツアー『奈良満喫体験』等と連動し、市内各団体や交通事業者、旅行会社と連携する。また、地元飲食店の協力によるグルメ企画を継続し、社寺・歴史関連以外の情報も強力に発信していく。

○ 第3回『奈良Go Round』事業

奈良市内の多様なエリアをゆったりと巡るキャンペーンを展開する。令和8年度は京終・帯解エリアを対象とし、「どこかなつかしい、京終・帯解さんぽ」と題して展開する。特設ホームページは9月に公開する予定。なお、令和6年度ならびに7年度に実施した「高畑」「佐保路」の特設ページも継続して公開し、奈良公園周辺からの観光客回遊を促す。

○『鹿寄せ』

奈良の朝の風物詩として定着している本行事を夏季、冬季及び春季に実施する。

○『新日本三大夜景奈良若草山トワイライト・夜景観賞バス』

来訪者に若草山からの夕景（トワイライト）及び、新日本三大夜景に選定された夜景を鑑賞していただくため、奈良市街と若草山山頂を結ぶ専用バスを夏季及び秋季に運行する。

○ 第7回『秋夜の奈良旅』事業（11月）

秋季における有力な宿泊誘引施策として、過去6年間いずれも高い評価を得てきた世界遺産社寺の夜間参拝及び関連ツアーを実施する。正倉院展期間中の賑わいを同展終了後も持続させるとともに、世界遺産「古都奈良の文化財」の周知及び理解促進に努める。

○ 第5回『路地ぶら ならまち・きたまち』事業（1月～2月）

これまで高い評価を得てきた「ならまち」「きたまち」諸寺の特別御朱印授与と、通常は拝観予約を要する寺院における案内付き拝観及び御朱印授与を期間限定で実施する。冬季閑散期における有効な誘客施策として、『冬のグルメフェア』とも連動させ、地域全体への誘客促進を図る。

○ ユネスコ世界文化遺産「古都奈良の文化財」関連事業

奈良が誇る貴重な文化財である世界遺産六社寺のプロモーションを、奈良市全体の観光振興に資する重要な材料として強力に発信する。

● 第7回『秋夜の奈良旅』世界遺産社寺夜間参拝（前記）

● 第4回 世界遺産「古都奈良の文化財」シンポジウム

世界遺産登録記念日（１２月２日）前後に、六社寺代表を迎えてシンポジウムを奈良市内で開催する。

- 世界遺産「古都奈良の文化財」登録３０周年記念事業に向けての活動
２０２８年の登録３０周年に向け、奈良市、奈良文化財研究所、奈良商工会議所などの関係諸団体と連携する。また、奈良市制施行１３０周年事業とも連動し、機運醸成を図る。

○ グルメフェアの実施

毎回好評を得ている旬の食材をテーマとした期間限定特別メニューの紹介を、地元飲食店との協力により実施する。

- 夏のグルメフェア：第５回『ちゃちゃちゃ大和茶』（７月～９月）
- 秋のグルメフェア：第４回『県内４市町村（奈良・田原本・明日香・吉野）連携』
- 冬のグルメフェア：第４回『奈良いちごまみれ』（１月～２月）

○ 『春のおでかけキャンペーン』事業（３月）

桜シーズンにおける桜開花情報の発信を中心として実施する。

（３） 海外プロモーション事業

訪日インバウンド観光客の来訪促進及び滞在時間延長を図るため、奈良市、奈良商工会議所等と連携し、誘致活動に取り組む。

各団体の共通重点国として、オーストラリアを想定する。

- 海外現地での情報発信として、繁体字フェイスブックを運営し、台湾及び香港に向けた発信に努めるとともに、現地航空会社等と連携した広報宣伝を実施する。
- 必要に応じて、国内外で開催される観光関係展示会及び商談会に、観光協会単独又は他団体と共同で出展し、現地事業者や一般旅行者に対して奈良をＰＲする。
- 海外現地の旅行会社、ランドオペレーター及び一般団体等からの問い合わせに対応し、必要に応じて奈良来訪時のコーディネート手配と、関係構築及び情報収集に努める。

（４） 教育旅行誘致事業

奈良市の観光産業に大きな位置を占めてきた教育旅行の誘致活動を、奈良市、奈良市旅館ホテル組合等と連携して実施する。対象地域及び対象校の分析を継続し、効果的な活動に努める。

- 『奈良市教育旅行ワークブック』及び、『奈良ならではの歴史&文化&オモシロ体験型教育旅行』を学校関係者及び旅行会社等に紹介する。

- 奈良市来訪を計画する学校の下見受入れを行うとともに、宿泊施設において僧侶による出張法話を提供する。
- 修学旅行生徒が奈良市内で班別学習を行う際に活用できる体験ツールとして、『デジタル再生古地図』を学校単位で販売する（後記）。
- 修学旅行生徒の奈良市内における班別学習時の利便性向上を図るため、市内契約飲食店で使用できる「ミールクーポン」を制作し、学校単位で販売する。

（５） 社寺関連・地元行事関連事業

○ 伝統行事等

「薪御能」「奈良大文字送り火」「采女祭」各行事の保存会事務局として、行事の円滑な実施に努めるとともに、各行事の認知度向上と来訪者誘致に取り組む。

行事	日時	実施場所	役割
薪御能	５月１５日（金） ５月１６日（土）	春日大社・興福寺	保存会事務局
奈良大文字送り火	８月１５日（土）	飛火野・高円山	保存会事務局
采女祭	９月２５日（月）	JR 奈良駅～猿沢池	保存会事務局
第１３回 珠光茶会	２月上旬	市内各社寺	実行委員会事務局

（６） その他の主な誘客活動

○ 『NARA CITY コンシェルジュ』 事業

第７代 NARA CITY コンシェルジュ（３名）は、各種イベント、行事などに参加して奈良市観光のＰＲに努め、公式ブログ、X（旧ツイッター）、Instagramなどの運営により知名度の向上に取り組む。

また、第８代 NARA CITY コンシェルジュ（３名）を一般から募集し、選考委員会による公正な審査により選出する。

○ 『しかまろくん』による情報発信事業

奈良市観光協会公式キャラクター「しかまろくん」を活用し、各種イベント・行事への参加、街頭グリーティング、「しかまろくん」フェイスブック及びInstagramの運営等を通じて、奈良市観光のＰＲに努める。

○ 姉妹都市連携事業

福島県郡山市、福井県小浜市等、奈良市と姉妹・友好関係にある都市との交流を深めるため、双方の行事への使節団の派遣及び受入れ等を行う。

○ 奈良酒の広報と『奈良しゅわボール』事業

日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録（令和6年12月）されたことを受け、「清酒発祥の地・奈良」の知名度向上と奈良酒の普及促進に向けた取組を継続する。また、民間事業者の協力のもと、奈良酒をソーダ等で割った「奈良しゅわボール」（奈良市観光協会登録商標）の普及に努める。

【観光案内事業】

（１）観光案内所運営事業（奈良市受託事業）

奈良市より市内３カ所の観光案内所の運営を受託する。

奈良市の運営方針に基づき、自動案内も併用しながら観光案内機能の充実に努める。インバウンド来訪者の更なる増加が見込まれる中、旅マエ情報では補完しきれない最新情報を提供する拠点として、効率的かつ的確な運営を行う。

○ 奈良市総合観光案内所（ＪＲ奈良駅前）

○ 近鉄奈良駅総合観光案内所（近鉄奈良駅上）

○ 奈良市観光センター「NARANICLE（ナラニクル）」（奈良市中部公民館内）

（２）多言語チャットボットサービスの提供

奈良市観光協会ウェブサイトおよび観光案内システム上にて観光案内多言語チャットボットサービスを提供し、来訪者がモバイル端末から観光情報を円滑に取得できる環境を整備する。

（３）アイドリングストップ乗務員休憩所の運営（奈良市受託事業）

春日大社、薬師寺及び唐招提寺の駐車場において観光バス乗務員休憩所を運営し、乗務員休憩中のアイドリングストップを推奨する。

【販売事業】

奈良市観光協会の主な自主収益事業

（１）第１３回『奈良・西ノ京ロータスロード』（６月半ば～８月半ば）

仏教において重要な意味のある「蓮」をテーマに、大和西大寺駅から奈良市西ノ京地区にかけて点在する４ヶ寺（西大寺・喜光寺・唐招提寺・薬師寺）を巡る共通拝観券の発行と、各社寺における付帯企画を実施する。

蓮の開花特性を利用した早朝企画による前泊への誘引と、奈良公園周辺に集中しがちな来訪者の市内回遊をめざす。引き続き、オンライン拝観券を導入し、販売効率

化とファン層拡大を強化し、インバウンドへの販売も継続する。令和8年度は4ヶ寺の特別御朱印が一新される。

(2) 春日若宮おん祭特別棧敷席運営(12月15日、17日)

第891回春日若宮おん祭においてお渡り式をゆっくり座って観賞できる特別棧敷席を設置し運営する。

(3) 『奈良満喫体験』ツアーの企画・販売

奈良市観光協会が主催するオリジナルツアーブランドとして、『奈良満喫体験』を展開する。一般の旅行会社にはない特色ある内容を主眼とし、奈良ならではの社寺関連企画に加え、奈良の多様性と独自性を打ち出した市全域を対象とする企画を盛り込む。従来からの奈良ファンに対しては、より深い体験を提供するとともに、新たなファン層の獲得を図り、滞在時間延長の契機となる企画とする。

奈良市観光体験予約サイト「NARAタイム」において予約受付と管理を行う。

(4) 新観光ブランド『稀観 ki-kou』の企画・販売

『満喫体験』よりさらに一歩進めて、奈良が1300年前から受け継いできた奥深い価値を来訪者に五感で体験していただくための新企画『稀観 ki-kou』を展開する。

(5) 『デジタル再生古地図』事業

「ならまち」「きたまち」のデジタル再生古地図ならびに、再生古地図を活用したツアー企画等を、来訪者及び修学旅行関係者に販売し、街歩きを提案を行う。

(6) 手荷物預かり事業

奈良市総合観光案内所において、来訪者の手荷物預かりを実施する。

(7) 物品販売

各案内所において、「しかまろくん」グッズ、バスチケット等を販売する。

「しかまろくん」グッズの商品展開に当たっては、制作者からライセンス収入を得る。デザイン使用及びライセンス管理については、適正かつ厳正に行う。

【その他の事業】

共催・後援・会員向け事業・関係団体等共同事業

(1) 市内各社寺が実施する行事への支援及び広報協力を行う。

(例)「春日大とんど」 春日大社共催 1月23日(土)実施予定

(2) 『Nara Slow & Loop』事業

JR西日本の万葉まほろば線、和歌山線及び大和路線が走る奈良県北部を一周する形で、じっくりと時間をかけた周遊観光を推奨する『Nara Slow & Loop』協議

会に参加する。観光客の奈良市を起点とした県内回遊による滞在時間延長を図るため、奈良商工会議所、沿線自治体・観光団体及びＪＲ西日本等と協力する。

(３) 「おもてなし民間トイレ」

観光地区に所在する店舗等のトイレを来訪者が利用できるよう、民間の協力を得て、来訪者の市内回遊時における利便性向上を図る。

(４) 全国高等学校ラグビーフットボール大会期間中、大会出場校の奈良市滞在中における練習会場確保及び練習日程の調整を行う。

(５) 奈良マラソン実行委員会、東海自然歩道連絡協会、奈良の鹿愛護会等、各団体の委員又は理事として広く奈良市観光の発展に努める。

(６) メールマガジンの配信

奈良市観光協会会員に対し毎月メールマガジンを配信し、観光協会の取組や観光産業に関する話題等を紹介することで、協会に対する会員の理解促進に資する。

(７) 観光先進地域の事例研究や他団体との連携を通じて知見を深め、将来の奈良市観光の発展を見据えた提言を行う。また、情報発信やプロモーションのみならず、総合的な観光マーケティングの強化を目的として、奈良市、奈良商工会議所等との定例会議を継続する。

以上

令和8年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和 8年 4月 1日

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	9,000,000	9,000,000		既会員740口、新規会員10口
事業収益				
販売事業収益	6,076,000	5,753,000	323,000	
特別観覧席収益	5,340,000	5,270,000	70,000	おん祭栈敷席
手荷物預かり事業収益	7,500,000	7,500,000		
観光情報提供事業収益	1,480,000	1,480,000		観光情報誌広告料
ロイヤリティ事業収益	10,000,000	12,000,000	-2,000,000	
旅行事業収益	9,856,000	11,261,000	-1,405,000	
カフェ運営協力収益	2,445,000	2,445,000		
NARANICLE運営事業収益	1,512,000	1,512,000		レストラン運営共益費見合い
外貨両替機手数料収益	482,000		482,000	設置増に伴う独立計上
受取補助金等				
受取奈良市補助金	240,000,000	232,490,000	7,510,000	
受取奈良市受託料	87,359,000	89,554,000	-2,195,000	
受取負担金				
受取民間負担金	350,000	350,000		
雑収益				
受取利息	237,000	12,000	225,000	
雑収益		132,000	-132,000	外貨両替機収益を独立計上
経常収益計	381,637,000	378,759,000	2,878,000	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	9,149,000	9,149,000		
給料手当	134,322,000	127,149,000	7,173,000	
福利厚生費	25,379,000	25,855,000	-476,000	
研修費	50,000	50,000		
旅費交通費	8,852,000	8,097,000	755,000	
通信運搬費	3,280,000	3,290,000	-10,000	
会議費	55,000	61,000	-6,000	
交際費	590,000	560,000	30,000	
減価償却費	4,360,000		4,360,000	公式Webサイト
消耗品費	2,622,000	3,260,000	-638,000	
修繕費	1,238,000	1,273,000	-35,000	
印刷製本費	9,056,000	7,307,000	1,749,000	
燃料費	241,000	162,000	79,000	
光熱水料費	11,901,000	10,703,000	1,198,000	
賃借料	12,803,000	11,801,000	1,002,000	公用車・駐車場等賃料の増
保険料	881,000	714,000	167,000	
諸謝金	9,058,000	11,400,000	-2,342,000	行事・ツアー協力謝金の減
租税公課	7,107,000	7,311,000	-204,000	
支払負担金	1,388,000	1,681,000	-293,000	
諸会費	132,000	144,000	-12,000	
支払補助金	27,052,000	26,052,000	1,000,000	観光関連団体補助金の増
支払寄付金	75,000	87,000	-12,000	
委託費	75,907,000	87,847,000	-11,940,000	非接触観光事業見直し
支払手数料	405,000	346,000	59,000	
広報宣伝費	10,715,000	10,528,000	187,000	
雑費	2,526,000	2,503,000	23,000	
管理費				
役員報酬	1,051,000	1,051,000		
給料手当	11,017,000	10,094,000	923,000	
福利厚生費	2,399,000	2,212,000	187,000	
研修費	270,000	282,000	-12,000	
会議費	960,000	962,000	-2,000	
交際費	100,000	100,000		
旅費交通費	438,000	407,000	31,000	
通信運搬費	433,000	435,000	-2,000	
消耗品費	201,000	301,000	-100,000	
修繕費	32,000	20,000	12,000	
印刷製本費	108,000	94,000	14,000	

令和8年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和8年4月1日

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
燃料費	29,000	18,000	11,000	
光熱水料費	38,000	36,000	2,000	
賃借料	1,106,000	983,000	123,000	公用車・駐車場等賃料の増
保険料	133,000	116,000	17,000	
租税公課	635,000	435,000	200,000	法人税等
諸会費	501,000	296,000	205,000	関連団体会費の増
支払手数料	935,000	1,140,000	-205,000	
委託費	2,107,000	2,447,000	-340,000	士業顧問料・相談料等
経常費用計	381,637,000	378,759,000	2,878,000	
評価損益等調整前当期経常増減額				
評価損益等計				
当期経常増減額				
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額				
税引前当期一般正味財産増減額				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	32,151,527	32,151,527		
一般正味財産期末残高	32,151,527	32,151,527		
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	2,057,415	2,057,415		
指定正味財産期末残高	2,057,415	2,057,415		
Ⅲ 正味財産期末残高	34,208,942	34,208,942		

令和 8 年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和 8 年 4 月 1 日

予算報告用

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			その他事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公益事業 1	共通（公益）	小 計	収益事業 1	共通（収益）	小 計	その他事業 1	その他事業 2	共通（その他）	小 計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
受取会費		4,500,000	4,500,000				450,000	450,000		900,000	3,600,000		9,000,000
正会員受取会費		4,500,000					450,000	450,000		900,000	3,600,000		9,000,000
事業収益	1,885,000		1,885,000	42,806,000		42,806,000							44,691,000
販売事業収益	405,000		405,000	5,671,000		5,671,000							6,076,000
特別観覧席収益				5,340,000		5,340,000							5,340,000
手荷物預かり事業収益				7,500,000		7,500,000							7,500,000
観光情報提供事業収益	1,480,000		1,480,000										1,480,000
ロイヤリティ事業収益				10,000,000		10,000,000							10,000,000
旅行事業収益				9,856,000		9,856,000							9,856,000
カフェ運営協力収益				2,445,000		2,445,000							2,445,000
NARANICLE運営事業収益				1,512,000		1,512,000							1,512,000
外貨両替機手数料収益				482,000		482,000							482,000
受取補助金等	184,047,000	113,494,000	297,541,000		10,901,000	10,901,000	2,599,000	1,270,000		3,869,000	15,048,000		327,359,000
受取奈良市補助金	96,688,000	113,494,000	210,182,000		10,901,000	10,901,000	2,599,000	1,270,000		3,869,000	15,048,000		240,000,000
受取奈良市受託料	87,359,000		87,359,000										87,359,000
受取負担金	150,000		150,000								200,000		350,000
受取民間負担金	150,000		150,000								200,000		350,000
雑収益											237,000		237,000
受取利息											237,000		237,000
経常収益計	186,082,000	117,994,000	304,076,000	42,806,000	10,901,000	53,707,000	3,049,000	1,720,000		4,769,000	19,085,000		381,637,000
(2) 経常費用													
事業費	197,191,000	123,337,000	320,528,000	19,649,000	14,074,000	33,723,000	2,943,000	1,950,000		4,893,000			359,144,000
役員報酬		8,384,000	8,384,000	337,000		337,000	214,000	214,000		428,000			9,149,000
給料手当	41,402,000	82,734,000	124,136,000		8,315,000	8,315,000	1,039,000	832,000		1,871,000			134,322,000
福利厚生費	5,146,000	18,015,000	23,161,000		1,811,000	1,811,000	226,000	181,000		407,000			25,379,000
研修費	50,000		50,000										50,000
旅費交通費	3,347,000	2,839,000	6,186,000	2,257,000	285,000	2,542,000	36,000	88,000		124,000			8,852,000
通信運搬費	2,313,000	346,000	2,659,000	573,000	35,000	608,000	8,000	5,000		13,000			3,280,000
会議費	55,000		55,000										55,000
交際費	540,000		540,000										590,000
減価償却費	4,360,000		4,360,000					50,000		50,000			4,360,000
消耗品費	1,837,000	334,000	2,171,000	410,000	34,000	444,000	4,000	3,000		7,000			2,622,000
修繕費	970,000	239,000	1,209,000		24,000	24,000	3,000	2,000		5,000			1,238,000
印刷製本費	6,610,000	586,000	7,196,000	1,788,000	59,000	1,847,000	7,000	6,000		13,000			9,056,000
燃料費		215,000	215,000		21,000	21,000	3,000	2,000		5,000			241,000
光熱水料費	10,067,000	286,000	10,353,000	1,512,000	29,000	1,541,000	4,000	3,000		7,000			11,901,000
賃借料	2,210,000	8,302,000	10,512,000	1,265,000	834,000	2,099,000	104,000	88,000		192,000			12,803,000
保険料	131,000	400,000	531,000	301,000	40,000	341,000	5,000	4,000		9,000			881,000
諸謝金	5,698,000		5,698,000	3,360,000		3,360,000							9,058,000
租税公課	4,905,000		4,905,000	18,000	2,184,000	2,202,000							7,107,000
支払負担金	1,230,000		1,230,000										
諸会費													132,000
支払補助金	27,052,000		27,052,000										27,052,000
支払寄付金								75,000		75,000			75,000
委託費	68,778,000	657,000	69,435,000	6,391,000	66,000	6,457,000	8,000	7,000		15,000			75,907,000
支払手数料	200,000		200,000	205,000		205,000							405,000
広報宣伝費	10,215,000		10,215,000	500,000		500,000							10,715,000
雑費	75,000		75,000	1,069,000		1,069,000	1,282,000	100,000		1,382,000			2,526,000
管理費											22,493,000		22,493,000
役員報酬											1,051,000		1,051,000
給料手当											11,017,000		11,017,000
福利厚生費											2,399,000		2,399,000
研修費											270,000		270,000
会議費											960,000		960,000
交際費											100,000		100,000
旅費交通費											438,000		438,000
通信運搬費											433,000		433,000

令和8年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和 8年 4月 1日

予算報告用

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			その他事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公益事業1	共通（公益）	小 計	収益事業1	共通（収益）	小 計	その他事業1	その他事業2	共通（その他）	小 計			
消耗品費											201,000		201,000
修繕費											32,000		32,000
印刷製本費											108,000		108,000
燃料費											29,000		29,000
光熱水料費											38,000		38,000
賃借料											1,106,000		1,106,000
保険料											133,000		133,000
租税公課											635,000		635,000
諸会費											501,000		501,000
支払手数料											935,000		935,000
委託費											2,107,000		2,107,000
経常費用計	197,191,000	123,337,000	320,528,000	19,649,000	14,074,000	33,723,000	2,943,000	1,950,000		4,893,000	22,493,000		381,637,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-11,109,000	-5,343,000	-16,452,000	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	-3,408,000		
評価損益等計													
当期経常増減額	-11,109,000	-5,343,000	-16,452,000	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	-3,408,000		
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計													
(2) 経常外費用													
経常外費用計													
当期経常外増減額													
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-11,109,000	-5,343,000	-16,452,000	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	-3,408,000		
税引前当期一般正味財産増減額	-11,109,000	-5,343,000	-16,452,000	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	-3,408,000		
当期一般正味財産増減額	-11,109,000	-5,343,000	-16,452,000	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	-3,408,000		
一般正味財産期首残高											32,151,527		32,151,527
一般正味財産期末残高	-11,109,000	-5,343,000	-16,452,000	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	28,743,527		32,151,527
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額													
指定正味財産期首残高	49,766		49,766								2,007,649		2,057,415
指定正味財産期末残高	49,766		49,766								2,007,649		2,057,415
III 正味財産期末残高	-11,059,234	-5,343,000	-16,402,234	23,157,000	-3,173,000	19,984,000	106,000	-230,000		-124,000	30,751,176		34,208,942

事業 年度	自	令和8年4月1日	法人コード	A021692
	至	令和9年3月31日	法人名	公益社団法人奈良市観光協会

認定規則第45条第3号

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業		借入先	金額	用途
区分	番号			
			円	
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業		設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
区分	番号			
			円	
			円	